



医薬業



徳島新聞富田専売所 徳島市富田橋4丁目6-4 電話0120-44-6106

👉 お仕事に役立つ3つのポイント



①地域欄

医薬業による地域活性化に関連した広告や記事掲載があれば、これからの医薬業の改善のヒントも得られる。地域に密着したイベントを通じて地元のお客様との交流例を知ることができる。

②健康欄

いま流行っている疾病や健康法をチェックして、対面でお話したお客様に外の世界で起こっていることの情報共有することで、日常生活以外での興味や対策についての関心を喚起できる。地元のイベント情報などを新報覧から得ることで日常的な視点から、流行病などの注意をお伝えできる。

③まわしよみ新聞の出前講座

徳島新聞の医薬品に関連する記事を使って、医薬品についての理解やジェネリックの新商品についてのお話をするなど、ワークショップである”まわしよみ新聞”の出前講座を活用し、普段接することがない方と交流する際にも効率的に取り入れることができる。

🗨️ 具体的な徳島新聞活用術

■医薬業の現場、施設にまつわる問題解決のご提案に活用

徳島新聞には様々な医薬品に関連する現場や病院・施設に関する話題が詳しい解説と共に載っているので、お客様目線のご提案をまとめるヒントにしている。



■健康面でのケアに関連するヒントを得ることに活用

医薬品の現場に携わる人間として知っておきたい、簡単な新薬品のポイントやジェネリック薬品の注意、成分が変わったといったところから具体的な注意事項について、アドバイスは”医薬品”についてと限られるものの、医療関係者による病気の解説記事などを活用することによってお客様が求めている情報を提供できる。そのため、健康・病気関連情報のチェックは欠かせない。



■幸せ記事で喜び共有

医療施設、薬局などでトピックとして表彰された記事などの中には、お客様と共に喜べる情報もある。また医薬品を提供する側として、病気にかかっている相手に寄り添うような気持ちも必要。お客様との会話も明るくするような、一緒に喜べる幸せ系記事を活用。



👍
こんな活用法いかがですか？

徳島新聞は、医師が
おこなった診断結果
から、顧客の問題解
決に役立つ医薬品を
届ける役割、使命を
持つています。と
もに、間違いなく提
供した医薬品によ
って、間違った回復
自立を手助けするこ
とを目的としていま
す。医薬品が適切な
方法によって用いら
れることで顧客の生
活の価値を高め、顧
客の生きる活力をつ
くることが目指して
います。医薬品の提
供や取り扱いは命に
かかわることなので
安全性の高いサービ
スを提供し、真剣に
対話をしながら適切
な支援をおこなって
いくためにも良好な
人間関係を積極的に
築いています。

所長 七田伸也



所長ひとこと